

特集

農業水利施設内の「ゴミ」問題

▶▶ シリーズ⑥

依然としてゴミで苦しむ水土里ネット

県北地域 …三種町鵜川土地改良区

地域排水を年中行っているため、冬期間も管理人がゴミ処理を行っています。

飛来ゴミ、漂着自然ゴミの一時堆積場所が道路脇にあるため、一般ゴミの投げ捨て等もあり、年々処理に係る費用が増加しています。

今後、処理について行政と協議をすることが課題となっています。



県央地域 …秋田市旭川筋土地改良区

水路が泣いていますよ ゴミの投棄は止めて

例年、用排水路や農道等に草刈後の草、畑の屑野菜、枯れ木、袋のままの一般ゴミが不法投棄されている現状です。

随時処理出来ればよいが、処理場が遠いことや処理費用関係上、ある程度まとまってから処理場に運搬していますが、夏場は特に悪臭や汚水の原因にならないよう心がけております。



県南地域 …大仙市神宮寺松倉堰土地改良区

水路におけるゴミについては減ることはなく、狭隘な箇所詰まり流れを堰き止めてしまっている箇所もみられます。これが洪水等の災害時には排水機能を低下させ被害を拡大、長期化させています。地域内に張り巡らされた水路は農業用水路としてだけでなく、災害防止施設としての役割もあり、農家、土地改良区だけではなく、行政とも協力し合いながら対応していく必要があると考えています。



水土里ネットの皆様へお願い！

広報等に「ゴミ捨て防止」コーナーを設置して頂き、草刈り・農業用資材ゴミを下流域へ流さない啓発活動をお願いいたします。

【水土里ネット秋田】

農家負担金軽減支援対策事業(組替新規)の概要

平成23年度従来、財団法人全国土地改良資金協会が実施していました「土地改良負担金総合償還対策事業」と、全国土地改良事業団体連合会が実施していました「経営安定対策基盤整備事業緊急支援事業」が、「農家負担金軽減支援対策事業」に統合されました。

統合された同事業の事業実施主体は「公募団体」となっており、平成23年3月30日付けで全国土地改良事業団体連合会が公募団体に決定されています。

なお、全国土地改良資金協会は債権譲渡登記手続きを終え、5月31日付けで解散となりました。

土地改良負担金総合償還対策事業の名称が平成23年度より変わりました

平成22年度までの負担対策の実施体系

土地改良負担金総合償還対策事業 事業実施主体：(財)全国土地改良資金協会

水田・畑作経営所得安定対策等支援事業	(無利子貸付)平成19年度創設
災害被災地域土地改良負担金償還助成事業	(被災年度の利子助成)平成19年度創設
土地改良負担金償還平準化事業	(無利子で繰り延べ)平成2年度創設
土地改良負担金償還円滑化事業	(利子補給)平成2年度創設
特別型国営事業計画償還助成事業	(一定率までの利子助成)平成2年度創設
担い手育成支援事業	(ピーク時の利子助成)平成7年度創設

国の補助金により造成された土地改良負担金対策資金を活用し助成(基金方式)

平成23年度以降の負担対策の実施体系

農家負担金軽減支援対策事業 事業実施主体：公募団体

水田・畑作経営所得安定対策等支援事業	(無利子貸付)平成19年度創設
災害被災地域土地改良負担金償還助成事業	(被災年度の利子助成)平成19年度創設
土地改良負担金償還平準化事業	(無利子で繰り延べ)平成2年度創設
土地改良負担金償還円滑化事業	(利子補給)平成2年度創設
特別型国営事業計画償還助成事業	(一定率までの利子助成)平成2年度創設
担い手育成支援事業	(ピーク時の利子助成)平成7年度創設
経営安定対策基盤整備緊急支援事業	(利子助成)平成21年度創設

必要額を毎年度農林水産省で予算措置し助成(補助金方式)

注1) 平成23年度の事業実施主体は、全国土地改良事業団体連合会となっております。
 注2) 平成23年度までに認定された計画については、事業(助成)完了まで全国土地改良事業団体連合会が事業実施主体となります。

連 合 会 日 誌

5月23日	全国水土里ネット表彰式	東京都
5月26日	秋田県土地改良専門技術者会平成23年度(第18回)通常総会	秋田市
5月30日	平成22年度土地改良事業地区営農推進優良事例表彰	横手市
6月9日	平成23年度第2回監事会及び第3回監事会(～10日)	本会「第1会議室」
6月14日	秋田県仙北平野土地改良事業推進協議会総会	大仙市
6月27日	平成23年度第1回事務責任者会議および会長・事務責任者情報交換会	青森県
7月21日	TPP等から食料・農業・環境・地域を守る秋田県民フォーラム	秋田市
7月22日	平成23年度秋田県土地改良換地士部会通常総会	秋田市
…………… 今後の行事予定 ……………		
8月29日	本会第2回理事会並びに第2回役員会	本会「第1会議室」
8月29日	第53回土地改良団体職員研修会 (～30日)	東京都
8月30日	平成23年度換地関係異議紛争処理対策検討会 (～31日)	秋田市
10月20日	3.11東日本大震災復興支援水土里の集い 第34回全国土地改良大会inみやぎ(～21日)	仙台市

会 員 だ よ り

県内市町村長の就任について

4月に行われた統一地方選挙で次の方々が市町村長に就任されました。

- 大館市(H23. 5. 1)
市長 小 畑 元
- 上小阿仁村(H23. 5. 1)
村長 中 田 吉 穂

新理事長就任のお知らせ

次の方々が新たに理事長に就任されました。

- 山本郡三種町下岩川土地改良区(H23. 4. 15)
理事長 近 藤 範 夫
- 能代市榊土地改良区(H23. 5. 2)
理事長 大 山 紀 男
- 羽後町土地改良区(H23. 5. 10)
理事長 柴 田 均
- かづの土地改良区(H23. 7. 14)
理事長 田 口 信 一

住所変更のお知らせ

- 能代市榊土地改良区(H23. 5. 2)
(番地変更) 能代市坊ヶ崎 87 番地 4 号
TEL・FAX 0185-54-7930

ファックス番号変更のお知らせ

- 大仙市西仙北土地改良区
(変更前) 0187-77-2955
(変更後) 0187-88-8445

事務所移転のお知らせ

- 全国水土里ネット(H23. 7. 11)
事務所を砂防会館別館2階より同会館4階へ移転しました。
(新事務所住所) 〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目7番4号 砂防会館別館4階
- 秋田県農業公社(H23. 7. 29)
事務所を移転し7月29日から移転先で業務を開始いたします。
(移転先) 住所 〒011-0941 秋田市土崎港北2-17-70
TEL 総務企画部 018-893-6211

平成23年度秋田県土地改良事業推進大会(予定)

- 平成23年11月2日(水) 午後1時00分
- 横手市「横手市民会館」 横手市南町13-1

インフォメーション

「ふるさとの田んぼと水」 子ども絵画展 2011

- テーマ** 「新発見！ぼくのわたしのふるさと」
- 応募締切** 9月7日(水)必着
- 応募資格** 小学生以下
- 賞(昨年度実績)** 農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、環境大臣賞、ふるさと水と土優秀賞、全国水土里ネット会長賞 等

応募のきまり

1. 応募資格は小学生以下。クラスや学校単位での共同作品も可。
2. 四つ切り画用紙サイズ(38cm×54cm)以上、90cm×190cmまでとし、作品の厚みは3cm以内とします。
3. 作品テーマは「新発見!ぼくのわたしのふるさと」にまつわる題材で自由に描いてください。せきや水路、田んぼや棚田、畑、ため池、そこにすむ生き物たち、農業に関する古くから伝わる祭りや風習、郷土料理、様々な農作業風景など。画材は自由です。
4. グループ等でまとめて描かれる場合は、作品テーマや構図等の統一はなるべく避け、各自が自由に選択できるように心がけてください。
5. 応募作品は未発表のもの。また、以下の項目に該当する作品は応募できません。
 - ・他の絵画で入賞、入選など受賞した作品。
 - ・過去の入賞、入選作品(他の絵画展も含む)など模写した作品。
6. 応募用紙に、必要事項を記入のうえ、1点ずつ作品の裏、右下スミに、はがれないように貼り付けてください。共同作品の場合は、代表者名(学級担任等)、全員の名前も明記し、応募用紙の近くに貼り付けてください。

【学校や絵画教室などの団体で、一括して応募の場合】
作品個々に応募用紙を貼り付けるほかに、応募者一覧リスト、学校等団体名、連絡者名、連絡先住所・電話・FAX番号を明記した別紙を添付してください。(記入用紙はホームページにありますので、ダウンロードしてご利用ください。http://www.inakajin.or.jp)
7. 応募メ切りは、2011年9月7日(水)必着。期日に十分余裕をもってお送りください。

【応募先・問い合わせ先】 〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37 水土里ネット秋田 (秋田県土地改良事業団体連合会) 総務企画部 広報・渉外班あて TEL.018-888-2742 FAX.018-888-2834



夏季休暇のお知らせ

水土里ネット秋田は、8月13日～15日まで夏季休暇のため、各事務所(本部・北事務所・南事務所)は閉館となりますのでお知らせします。

野山の花 コイワカガミ(和名:小岩鏡)



高山帯に生える多年草。イワカガミの仲間では低山～高山まで幅広く見られ地域によって少しずつ形態が変わる。コイワカガミは高山型で日本海側の山に多く淡紅色の花がつく。イワカガミの由来は常緑の強い艶のある葉を鏡に見立てたもの。

撮影：2011.7 秋田駒ヶ岳 (写真提供/井島めぐみ)

表紙写真 美しく豊かな農村づくり写真コンクール入賞作品「花植作業」

※本印刷用紙は、大昭和板紙秋田工場で生産された「地産地消製品」を使用しております。

編集後記

◆7月11日の気象庁発表で列島全域が梅雨明けし、本県は平年より17日も早く史上3番目の早さとなりました。梅雨明けとともに県内は連日30度を越え、ついにエアコンに頼ってしまった人も多いのではないのでしょうか。節電対策にあの手この手の夏。暑さをしのぐためにエアコンを上手に活用したいですね。また、スポーツではサッカー女子W杯で「なでしこジャパン」が見事に金メダルを獲得。全国各地でも甲子園を目指した高校球児の夏が大詰めを迎えています。最後まで諦めない、ひたむきな姿にいつながら感動と興奮を感じていますが、皆さんはいかがでしょう。夏本番となり、東北各県は間もなく夏祭りの季節を迎えます。東北の被災地の復興を一緒に応援しましょう!

(広報・渉外班◆嵯峨記)